

富山県エコイベント実施方針

平成15年3月

富 山 県

【エコイベント実施方針策定の趣旨】

イベントの開催は、県の様々な施策の普及啓発に効果的な手法の一つですが、一方で、電気やガソリンなどのエネルギーの消費や、紙や木材などの資源の消費、さらには廃棄物の発生など、環境へ負荷を与えるという側面を有します。

県では、県民新世紀計画の五つの立県構想の一つに新たに「環境立県」を掲げ、循環型社会の形成を目指すこととしました。このため、様々な施策の実施にあたり、県自らが率先して環境への負荷を低減することが必要です。

特にイベントの開催については、従来の実施方法を見直し、環境に配慮した開催に努めることにより、環境へ与える負荷を抑制するという直接的な効果のほかに、県自らの取組みを県民にアピールし、広く県内全体に環境配慮の意識を普及させるという間接的な効果も期待できます。

また、ごみの少ない会場や交通渋滞の少ない会場アクセス等は来場者の満足度をより高めるだけにとどまらず、地域住民からもより一層理解を得られるものと考えられます。

このため、イベント自体の開催目的や楽しさを損なわない範囲で、環境に配慮した取組みを実施するための、「エコイベント実施方針」を策定します。

【基本的事項】

(1) 対象とするイベント等

不特定多数の参加者を対象として開催する会議、大会、祭り、シンポジウム等のうち、県及び県が主体となった実行委員会が県内外で主催または共催するものであり、かつ、その実施に際して県が管理できるもの（以下「イベント等」という。）とします。

(2) エコイベントの実施方法

イベント等の実施にあたっては、あらかじめ「エコイベント実施方針」に定める各種取組みの実施について検討し、全ての必須項目を実施するとともに、努力項目についてもできるだけ多くの項目を実施するよう努めます。なお、イベント終了後は、実施結果を自己評価し、次期開催時の参考とします。

なお、当分の間、参加者が概ね100名以上の規模のイベント等について、「エコイベント実施方針」に基づく実施結果報告書を事務局まで提出することとします。

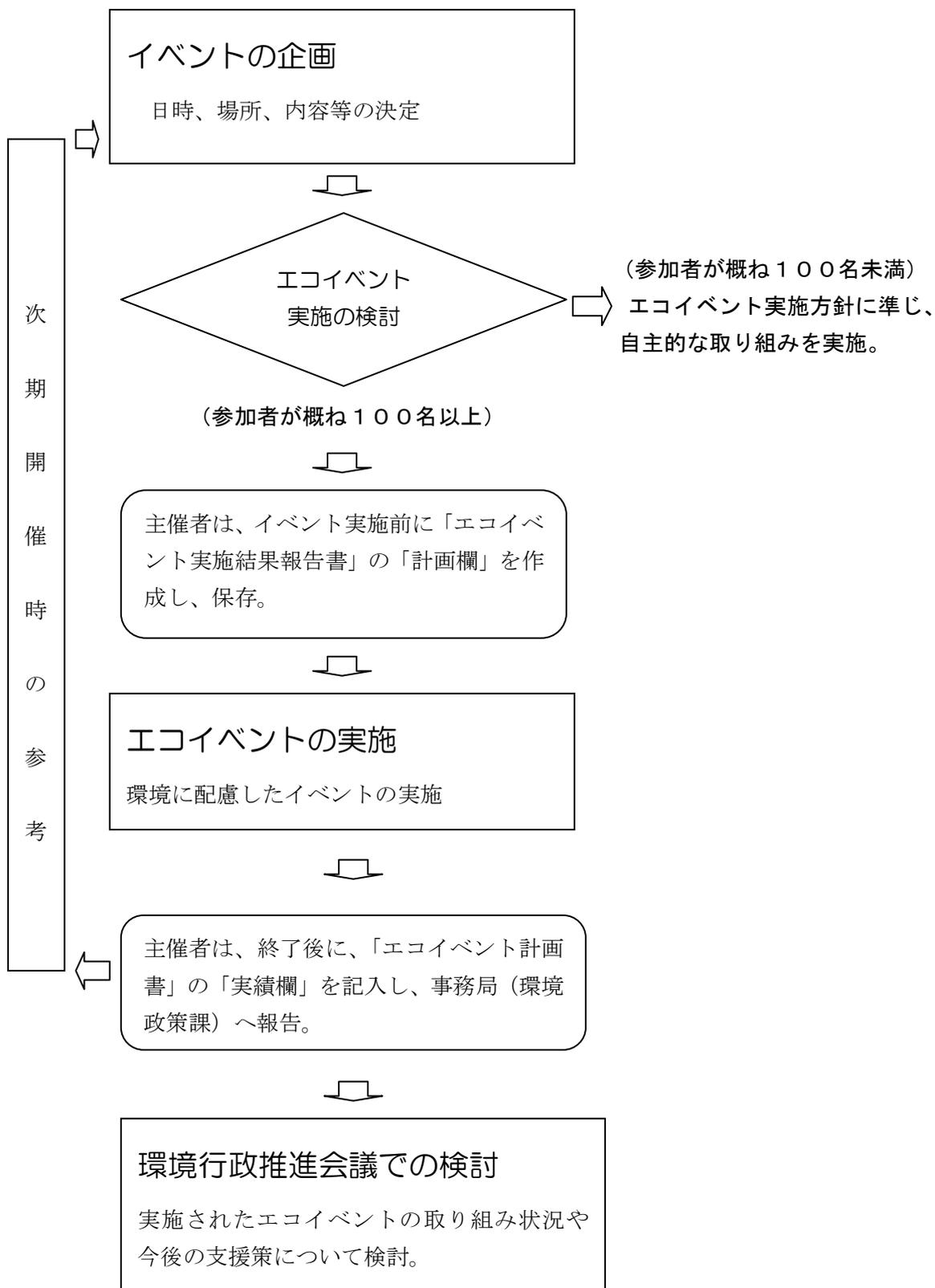
(3) エコイベントの実施結果の公表

エコイベントについては、主催者からの実施結果報告に基づき、事務局でエコイベント実施結果一覧表を作成し、環境行政推進会議に報告のうえ、公表します。

(4) エコイベントへの支援

エコイベントに対する財源的支援または人的支援は現段階では考えていません。ただし、実施結果を踏まえた今後の支援策については環境行政推進会議で検討を行います。

【エコイベント実施のフロー】



イベントの実施に伴う環境影響の例

INPUT(使用・消費するもの)	⇒ イベントの要素	⇒ OUTPUT(排出するもの)
<ul style="list-style-type: none"> ○コピー紙の消費 ○電気、ガス等の使用 ○出席に要する自動車燃料の消費 	【準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・打合せ資料の作成 ・照明、空調等の使用 ・出席者の来場 	<ul style="list-style-type: none"> ○不要となった資料の廃棄 ○温室効果ガスの排出 ○温室効果ガスの排出 ○排気ガスの排出
<ul style="list-style-type: none"> ○工事による資材の消費 ○工事に伴うエネルギーの使用 ○工事に伴う水の使用 	【会場整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・会場及び周辺施設の整備 〃 〃 〃 〃 〃 	<ul style="list-style-type: none"> ○工事に伴う廃棄物の発生 ○温室効果ガスの排出 ○排気ガスの排出 ○汚水の排出 ○騒音、振動の発生 ○照明による影響の発生 ○生態系への影響の発生
<ul style="list-style-type: none"> ○紙類の消費 ○送付に要する自動車燃料の消費 ○啓発物品作成のための資材の消費 ○立看板等作成のための資材の消費 	【広報・宣伝】 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシ等の作成 ・ポスター、チラシ等の送付 〃 ・啓発物品の作成配布 ・立看板、横断幕等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○不要となったポスター等の廃棄 ○温室効果ガスの排出 ○排気ガスの排出 ○不要となった啓発用物品の廃棄 ○不要となった資材の廃棄
<ul style="list-style-type: none"> ○参加に要する自動車燃料の消費 	【交通アクセス】 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の来場 ・駐車場への誘導 〃 〃 	<ul style="list-style-type: none"> ○温室効果ガスの排出 ○排気ガスの排出 ○交通渋滞の発生 ○騒音の発生
<ul style="list-style-type: none"> ○電気、ガス等の使用 ○水道の使用 ○紙類の消費 ○記念品作成のための資材の消費 ○紙類の消費 ○ディスプレイ作成のための資材の消費 ○(必要に応じ)資材の消費 	【行催事】 <ul style="list-style-type: none"> ・照明、空調等の使用 ・参加者の来場 ・パンフレット、資料集等の配布 ・記念品等の配布 ・封筒、手提げ袋の配布 ・会場ディスプレイの実施 ・植樹、魚の放流、風船の使用等 	<ul style="list-style-type: none"> ○温室効果ガスの排出 ○し尿、汚物の排出 ○不要となった資料の廃棄 ○不要となった配布物の廃棄 ○不要となった封筒類の廃棄 ○不要となった資材の廃棄 ○生態系への影響の発生
<ul style="list-style-type: none"> ○レジ袋等作成のための資材の消費 	【物品の販売】 <ul style="list-style-type: none"> ・物品の販売 ・レジ袋等の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○不要となった包装紙等の廃棄 ○不要となったレジ袋等の廃棄
<ul style="list-style-type: none"> ○容器作成のための資材の消費 ○水の使用 ○電気の使用 ○水道の使用 	【飲食物の提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・飲食物の調製、提供 ・飲食物容器等の使用 ・食器等の洗浄 ・自動販売機の設置、提供 〃 ・参加者の飲食 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ残しの発生 ○使用済み容器等の廃棄 ○汚水の排出 ○使用済み容器等の廃棄 ○温室効果ガスの排出 ○し尿、汚物の排出
<ul style="list-style-type: none"> ○清掃に要する資材の消費 ○電気、ガス、水道等の使用 ○搬送に要する自動車燃料の消費 	【終了後の会場整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・会場内清掃の実施 ・照明、空調等の使用 〃 ・廃棄物処理施設への搬送 〃 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種廃棄物の排出 ○温室効果ガスの排出 ○汚水の排出 ○温室効果ガスの排出 ○排気ガスの排出
<ul style="list-style-type: none"> ○紙類の消費 	【記録の作成】 <ul style="list-style-type: none"> ・実施記録の作成配布 	<ul style="list-style-type: none"> ○不要となった資料の廃棄

【エコイベントの要件】

イベントの実施に伴い、環境へ影響を与える要因は数多く考えられます。この実施方針では、これらの要因を主催者がまず認識するとともに、発生する環境への影響を最小限にするための取り組み事項を大きく以下の6項目とします。

1 自然環境への配慮

富山県は豊かな水と緑に恵まれており、イベントの実施にあたっては自然環境への負荷を可能な限り少なくするように配慮して、自然との共生を図ることが大切です。

2 ごみ減量化・リサイクル

イベントには多くの人々が参加し、多量の廃棄物が発生します。廃棄物の発生を最小限にするとともに、発生した廃棄物を可能な限りリサイクルすることが大切です。

3 交通対策

マイカーは便利ですが、交通渋滞の発生を招くことから、排気ガスによる大気汚染や地球温暖化の原因になるほか、エネルギーの浪費にもつながります。自動車からの環境負荷を削減することが大切です。

4 省資源・省エネルギー

イベントは華やかで楽しいものですが、資源やエネルギーを大量消費していることを忘れてはいけません。可能な範囲で節約やリサイクルを推進することが大切です。

5 参加者への普及啓発

イベントは多くの人々が参加する場であり、環境保全に対する理解や実践活動を促進する大きなチャンスです。イベント会場での環境配慮の意識を、県内全体での活動に結び付けることが大切です。

6 運営体制

イベントへの環境配慮はこれまでも取り組まれてきましたが、すべてのイベントで継続的、組織的に環境配慮を行うためには、運営体制を整えることが大切です。

※上記6項目には、各々「必須項目」と「努力項目」を設定しています。エコイベントには、6項目の全ての必須項目を満たすことが必要です。また、努力項目についても実施可能な場合は積極的に取り組んでいくこととします。

1 自然環境への配慮

イベントは楽しいものですが、イベント終了後に自然や生物の環境が回復できないような状態になることは避けなければいけません。富山県は豊かな水と緑に恵まれており、イベントの実施にあたっては自然環境への負荷を可能な限り少なくするよう、企画立案の段階から配慮するとともに、進行管理の際に常に配慮するなど、自然との共生を図ることが大切です。

(必須項目)

- 会場選定にあたっては、既存の施設を最大限活用します。
- 会場及び周辺での設営にあたっては、環境への影響を最小限にとどめます。
- 植樹、魚の放流、鳥の放鳥等を行う場合には、生態系に配慮します。

(努力項目)

- 会場周辺における希少動植物の生態をあらかじめ調査します。
- 会場施設の整備にあたっては、地形の著しい改変を極力避けるなど景観に配慮するほか、自然や生物の環境に配慮した工法を採用します。
- 会場からの排水（し尿）、音響設備や花火、夜間照明などの使用に際しては、環境へ十分配慮します。
- 環境に与えた影響については、原状回復に努めます。

2 ごみ減量化・リサイクル

イベントには多くの人々が参加し、多量のごみが発生します。ごみ対策の基本は、3つのRを常に意識することです。

- ① Reduce (リデュース) …ごみを減らす、
- ② Reuse (リユース) …ものをくり返し使う、
- ③ Recycle (リサイクル) …ごみを資源として利用する

また、やむをえず発生したごみについては、適正に処分することが大切です。

(必須項目)

- チラシや資料は、あらかじめ必要部数を考慮して、最小限の部数を準備します。
- 余ったチラシや資料は再使用に努め、それでも余る場合は適切にリサイクルします。
- ごみは、会場所在市町村のルールに従って分別します。
- ごみ収集場所をわかりやすく表示するとともに、分別収集ボックス等を設置します。

(努力項目)

- プロジェクターをできるだけ活用し、チラシや資料の作成部数を削減します。
- 生分解しない風船等は、行催事に使用しません。
- マイバッグの利用や、簡易包装を呼びかけます。
- 使い捨て容器の使用を改め、デポジット制度によるリユースカップの採用などに取り組みます。
- ごみの分別方法の説明等を行うスタッフを配置します。
- 食品廃棄物の堆肥化や、資材の再利用などに取り組みます。
- 会場から排出された廃棄物の処理状況を確認します。

3 交通対策

マイカーは便利ですが、イベントは一定の日時に多数の来場者が集中することから、交通渋滞の発生を招くことも多々あります。この結果、排気ガスによる大気汚染や地球温暖化の原因になるほか、エネルギーの浪費にもつながります。また、自動車からの騒音・振動は会場周辺の住民からのトラブルにもつながりかねません。自動車からの環境負荷を削減することが大切です。

(必須項目)

- 会場の選定にあたっては、公共交通機関の利用を最大限考慮します。
- 公共交通機関や自転車など、環境負荷の少ない交通手段による来場を呼びかけます。
- やむをえず自動車を利用される方には、相乗りやイドリングストップなどの実施を呼びかけます。
- 開催案内、ポスター、チラシ等には、公共交通機関の案内等を付記します。

(努力項目)

- パークアンドライドやシャトルバスの運行を実施します。
- 来場者数に応じた駐車場の確保や、交通規制の適切な実施等により、交通渋滞の発生抑制に努めます。
- 来場者に会場周辺の交通渋滞を適切に伝えるため、マスコミ等に協力を要請します。
- 主催者用の車両として、電気自動車やハイブリッド車などの低公害車の試験活用を行います。

4 省資源・省エネルギー

イベントは華やかで楽しいものですが、資源やエネルギーを大量消費していることを忘れてはいけません。必要以上に資源やエネルギーを使わないよう、可能な範囲で節約やリサイクルを推進することが大切です。

(必須項目)

- 照明や空調の温度設定は、周囲の状況に応じた適切な状態になるよう調整します。
- 印刷物の作成にあたっては、再生紙や大豆インクなど環境に配慮した素材を用いるとともに、作成部数の抑制を図ります。
- 資材の購入にあたっては、環境に配慮した商品を優先的に購入します。

(努力項目)

- 施設や設備の整備時には、太陽光発電や風力発電など、新エネルギーの試験導入に努めます。
- イベントごとにパネルなどの展示品を作成するのではなく、複数のイベントでの共同使用、再利用等を検討します。

5 参加者への普及啓発

イベントは多くの人に参加する場であり、環境保全に対する理解や実践活動を促進する大きなチャンスです。来場者に対し、イベント会場での環境配慮の取り組みをアピールし、県内全体における活動に結びつけることが大切です。

(必須項目)

- イベントの実施時に環境へ配慮した取り組みを、マスコミ等に積極的にアピールします。
- 会場内でも、イベント開催時に環境に配慮した内容をわかりやすく説明します。

(努力項目)

- 環境に関心のある個人やNPOと共同で、来場者に対する環境学習の機会を設けます。
- イベント終了後に、参加者や出展者等と共同で清掃活動を実施します。

6 運営体制

イベントへの環境配慮はこれまでも取り組まれてきましたが、すべてのイベントが継続的、組織的に環境配慮を行うためには、環境に関心のある個人やNPOとともに、運営体制を整えることが大切です。

(必須項目)

- 環境配慮の責任者を選任します。
- 事務局、ボランティア、出展者等への事前説明時に、環境への配慮の内容やその重要性について説明します。

(努力項目)

- イベントの企画立案時から、環境に関心のある個人やNPO等の参画を求めます。
- 環境配慮のための取り組みについて、広くアイデアを募集します。
- イベント開催時または終了後に、イベントの環境への配慮についてのアンケートを実施します。

エコイベント実施結果報告書

名称	(新規・継続) (主催・共催)
期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日(日間)
場所	
趣旨	
備考	参加者数:約 名

1 自然環境への配慮		実施予定		実施結果・反省点等
(必須項目)				
<input type="checkbox"/>	会場選定にあたっては、既存の施設を最大限活用します。	必須		
<input type="checkbox"/>	会場及び周辺での設営にあたっては、環境への影響を最小限にとどめます。	必須		
<input type="checkbox"/>	植樹、魚の放流、鳥の放鳥等を行う場合には、生態系に配慮します。	必須		
(努力項目)				
<input type="checkbox"/>	会場周辺における希少動植物の生態をあらかじめ調査します。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	会場施設の整備にあたっては、地形の著しい改変を極力避けるなど景観に配慮するほか、自然や生物の環境に配慮した工法を採用します。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	会場からの排水(し尿)、音響設備や花火、夜間照明などの使用に際しては、環境へ十分配慮します。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	環境に与えた影響については、原状回復に努めます。	実施する	実施しない	
2 ごみ減量化・リサイクル		実施予定		実施結果・反省点等
(必須項目)				
<input type="checkbox"/>	チラシや資料は、あらかじめ必要部数を考慮して、最小限の部数を準備します。	必須		
<input type="checkbox"/>	余ったチラシや資料は再使用に努め、それでも余る場合は適切にリサイクルします。	必須		
<input type="checkbox"/>	ごみは、会場所在市町村のルールに従って分別します。	必須		
<input type="checkbox"/>	ごみ収集場所をわかりやすく表示するとともに、分別収集ボックス等を設置します。	必須		
(努力項目)				
<input type="checkbox"/>	プロジェクターをできるだけ活用し、チラシや資料の作成部数を削減します。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	生分解しない風船等は、行催事に使用しません。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	マイバッグの利用や、簡易包装を呼びかけます。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	使い捨て容器の使用を改め、デポジット制度によるリユースカップの採用などに取り組みます。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	ごみの分別方法の説明等を行うスタッフを配置します。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	食品廃棄物の堆肥化や、資材の再利用などに取り組みます。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	会場から排出された廃棄物の処理状況を確認します。	実施する	実施しない	
3 交通対策		実施予定		実施結果・反省点等
(必須項目)				
<input type="checkbox"/>	会場の選定にあたっては、公共交通機関の利用を最大限考慮します。	必須		
<input type="checkbox"/>	公共交通機関や自転車など、環境負荷の少ない交通手段による来場を呼びかけます。	必須		
<input type="checkbox"/>	やむをえず自動車を利用される方には、相乗りやアイドリングストップなどの実施を呼びかけます。	必須		
<input type="checkbox"/>	開催案内、ポスター、チラシ等には、公共交通機関の案内等を付記します。	必須		

(努力項目)				
<input type="checkbox"/>	パークアンドライドやシャトルバスの運行を実施します。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	来場者数に応じた駐車場の確保や、交通規制の適切な実施等により、交通渋滞の発生抑制に努めます。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	来場者に会場周辺の交通渋滞を適切に伝えるため、マスコミ等に協力を要請します。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	主催者用の車両として、電気自動車やハイブリッド車などの低公害車の試験活用を行います。	実施する	実施しない	
4 省資源・省エネルギー				
(必須項目)		実施予定	実施結果・反省点等	
<input type="checkbox"/>	照明や空調の温度設定は、周囲の状況に応じた適切な状態になるよう調整します。	必須		
<input type="checkbox"/>	印刷物の作成にあたっては、再生紙や大豆インクなど環境に配慮した素材を用いるとともに、作成部数の抑制を図ります。	必須		
<input type="checkbox"/>	資材の購入にあたっては、環境に配慮した商品を優先的に購入します。	必須		
(努力項目)				
<input type="checkbox"/>	施設や設備の整備時には、太陽光発電や風力発電など、新エネルギーの試験導入に努めます。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	イベントごとにパネルなどの展示品を作成するのではなく、複数のイベントでの共同使用、再利用等を検討します。	実施する	実施しない	
5 参加者への普及啓発				
(必須項目)		実施予定	実施結果・反省点等	
<input type="checkbox"/>	イベントの実施時に環境へ配慮した取り組みを、マスコミ等に積極的にアピールします。	必須		
<input type="checkbox"/>	会場内でも、イベント開催時に環境に配慮した内容をわかりやすく説明します。	必須		
(努力項目)				
<input type="checkbox"/>	環境に関心のある個人やNPOと共同で、来場者に対する環境学習の機会を設けます。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	イベント終了後に、参加者や出展者等と共同で清掃活動を実施します。	実施する	実施しない	
6 運営体制				
(必須項目)		実施予定	実施結果・反省点等	
<input type="checkbox"/>	環境配慮の責任者を選任します。	必須		
<input type="checkbox"/>	事務局、ボランティア、出展者等への事前説明時に、環境への配慮の内容やその重要性について説明します。	必須		
(努力項目)				
<input type="checkbox"/>	イベントの企画立案時から、環境に関心のある個人やNPO等の参画を求めます。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	環境配慮のための取り組みについて、広くアイデアを募集します。	実施する	実施しない	
<input type="checkbox"/>	イベント開催時または終了後に、イベントの環境への配慮についてのアンケートを実施します。	実施する	実施しない	
7 その他				
※上記以外に配慮・実施した事項や、エコイベント実施に関する意見等について記入して下さい。				

○実施予定欄記入者職氏名 (記入日:平成 年 月 日)

※実施予定欄については、イベント実施前に記入して下さい。

○実施結果・反省点等欄記入者職氏名 (記入日:平成 年 月 日)